

## 令和 4 年度依存症対策総合支援事業について

(静岡県障害福祉課)

### 1 県の予算事業

事業名	事業内容	事業開始年度
「多様な精神疾患医療連携体制事業費」のうち「依存症対策総合支援事業」	依存症に係る協議会、依存相談、リカバリーミーティング、研修、普及啓発、家族支援、受診後の患者支援事業、ギャンブル等依存症対策、ゲーム障害・ネット依存対策の実施	H30 年度

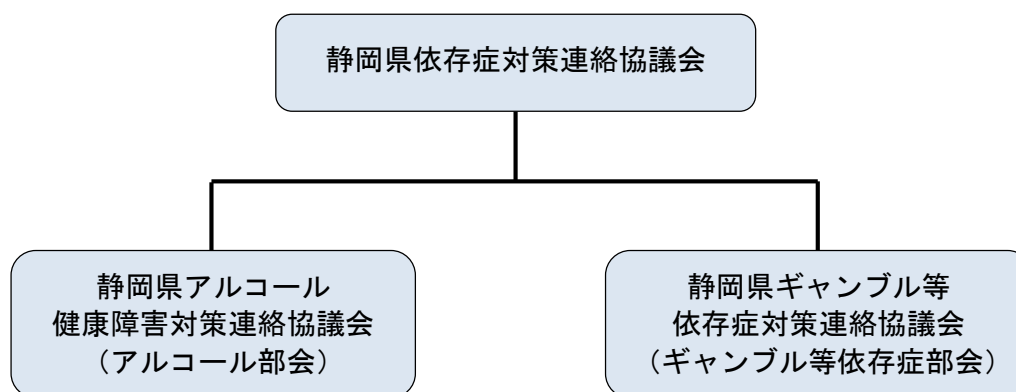
※令和 3 年度より「ゲーム障害・ネット依存対策事業費」及び「ギャンブル等依存症対策事業費」を「多様な精神疾患医療連携体制事業費」に統合した。

### 2 依存症に係る協議会等

#### (1) 協議会等一覧

協議会名	協議内容	備考
静岡県依存症対策連絡協議会	「多様な精神疾患医療連携体制事業費」のうち「依存症対策総合支援事業」において、県内の依存症者の支援に関することについて協議・検討することを目的に設置	H30 年度設置 (1 回/年)
静岡県アルコール健康障害対策連絡協議会 (アルコール部会)	平成 29 年度に策定した静岡県アルコール健康障害対策推進計画の策定及び進捗管理を目的に設置	H29 年度設置 (1 回/年)
静岡県ギャンブル等依存症対策連絡協議会 (ギャンブル等依存症部会)	令和 2 年度に策定した静岡県ギャンブル等依存症対策推進計画の策定及び進捗管理を目的に設置	R 2 年度設置 (計画策定年 3 回/年)

#### (2) 協議会等の構成



### 3 事業概要

#### (1) 依存相談

アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症問題についての相談に応じることにより、依存症に関する知識の普及、依存症当事者やその家族への支援を行う。東部（月1回）・中部（月3回）・西部（月1回）において、専門相談員による相談を実施する。

#### ○依存相談 実績

依存物質・行為	延べ件数（R3）	延べ件数（R4）※
アルコール	16件	8件
薬物	3件	1件
ギャンブル	16件	15件
その他（ゲーム・ネット、性、買い物等）	7件	21件
合計	42件	45件

※令和4年度は令和4年10月末時点の件数。

※令和3年度は新型コロナ感染拡大により中止期間あり。

#### ○県精神保健福祉センターでの電話相談 実績

R3 全相談件数：3,114件、R4 全相談件数※：1,799件

依存物質・行為	延べ件数（R3）	延べ件数（R4）※
アルコール	61件	32件
薬物	23件	11件
ギャンブル	73件	37件
その他（ゲーム・ネット、性、買い物等）	25件	15件
合計	182件	95件

※令和4年度は令和4年10月末時点の件数

#### 【参考】政令市における相談件数

#### ○対面相談 実績（延べ件数）

依存物質・行為	静岡市		浜松市	
	R3	R4	R3	R4
アルコール	39件	29件	281件	120件
薬物	5件	3件	132件	72件
ギャンブル	163件	132件	341件	194件
その他（ゲーム・ネット、性、買い物等）	1件	18件	198件	107件
合計	208件	182件	952件	493件

※令和4年度は令和4年10月末時点の件数

※静岡県では病院職員や断酒会等の依存症専門相談員による定期相談であり、政令市では随時職員が対応している。

○電話相談 実績（延べ件数）

依存物質・行為	静岡市		浜松市	
	R3	R4	R3	R4
アルコール	56 件	46 件	45 件	25 件
薬物	11 件	6 件	12 件	8 件
ギャンブル	84 件	49 件	112 件	122 件
その他（ゲーム・ネット、性、買い物等）	31 件	6 件	3 件	3 件
合 計	182 件	107 件	172 件	158 件

※令和4年度は令和4年10月末時点の件数

（2）リカバリーミーティング

アルコール、薬物、ギャンブル等の様々な依存を抱えた当事者及び家族を対象に、認知行動療法を取り入れたグループミーティングを実施することにより、依存症からの回復を図るとともに、依存問題を抱える者の生活を支える。また、ミーティングへの継続的な参加により、地域の自助グループへつなげる。

○実績 ※当事者の延べ参加者数

令和3年度

会 場	実施回数	延べ参加者数
中部（静岡）	21 回	26 名
東部（沼津）	9 回	18 名
合 計	30 回	44 名

令和4年度\*

会 場	実施回数	延べ参加者数
中部（静岡）	14 回	35 名
東部（沼津）	7 回	24 名
合 計	21 回	59 名

※令和4年度は令和4年10月末時点の件数。

※令和3年度は新型コロナ感染拡大により中止期間あり。

【参考】政令市におけるミーティング実施件数

令和3年度

	実施回数	延べ参加者数
静岡市	85 回	122 名
浜松市	39 回	233 名

令和4年度

	実施回数	延べ参加者数
静岡市	69 回	96 名
浜松市	22 回	104 名

※令和4年度は令和4年10月末時点の件数。

（3）依存症支援者研修

依存症に関する相談対応の向上や依存問題を抱える者に対する効果的な支援に関する基礎知識を習得するため、相談支援者や医療従事者向けの研修を実施する。

○依存症支援者研修 実績

事業年度	開催日	研修テーマ	依存症の種別	参加者数
令和3年度	R3.10.12	ギャンブル障害の基礎知識と SAT-G を用いた支援	ギャンブル等	30名
令和4年度	R4.8.16	ギャンブル障害の基礎知識と SAT-G を用いた支援	ギャンブル等	75名

○依存症医療従事者研修 実績

事業年度	実施機関	開催日	研修内容	依存症の種別	参加者数
令和3年度	聖明病院	R3.4.21	国研修の受講者による、国研修と同内容を基本とした地域医療従事者対象の専門研修	アルコール、薬物、ギャンブル等、ゲーム	17名
	服部病院		新型コロナウイルス感染拡大により中止		
令和4年度	聖明病院	R5.2月中旬予定	国研修の受講者による、国研修と同内容を基本とした地域医療従事者対象の専門研修	アルコール、薬物、ギャンブル等、ゲーム	
	服部病院	R4.5.20	榛原総合病院のスタッフと周辺地域の福祉職を対象として榛原総合病院内にて開催。医師・看護師・PSW・断酒会会員/家族より依存症という疾患について多面的に報告。依存症への理解を深めることを目標とした研修を行った。	依存症全般	48名

(4) 普及啓発

依存症に係るリーフレットの作成、県民公開セミナー等を通じ、依存症は誰もがなりえる「疾患」であることなどの普及啓発を実施する。

○実績

①SBIRTS 普及促進セミナー

事業年度	開催日	研修テーマ	参加者数
令和3年度	R3.11.28	SBIRTS の活用と普及促進について講演 SBIRTS の実践（ワークショップ）等	118名
令和4年度	R4.12.11	SBIRTS の活用と普及促進について講演 SBIRTS の実践（ワークショップ）等	

②普及啓発活動

事業年度	普及啓発の内容	依存症の種別
令和3年度	ギャンブル等依存症問題啓発週間において、関係機関へのリーフレット送付、配架	ギャンブル等
	ギャンブル等依存症問題啓発週間において、県庁本館前に啓発用立て看板の設置	ギャンブル等
	アルコール関連問題啓発週間、ギャンブル等依存症問題啓発週間における、関係機関への啓発用ポスター配布、掲示	アルコール、ギャンブル等
	ギャンブル等依存症問題啓発週間において、包括連携協定を活用し、依存症啓発カードを県内のミニストップに配架	依存症全般
令和4年度	ギャンブル等依存症問題啓発週間において、関係機関へのリーフレット送付、配架	ギャンブル等
	ギャンブル等依存症問題啓発週間において、県庁本館前に啓発用立て看板の設置	ギャンブル等
	アルコール関連問題啓発週間における、関係機関への啓発用ポスター配布、掲示	アルコール
	アルコール関連問題啓発週間を中心に、県内警察署及び運転免許センターに啓発グッズを配架、県庁東館県民サービスセンターに啓発グッズを配架（県断酒会と協同）	アルコール
	ギャンブル等依存症問題啓発週間において、包括連携協定を活用し、依存症啓発カードを県内の大塚製薬と日本生命に配架	依存症全般

③依存症フォーラム

依存症に関する正しい知識の普及啓発のため、県民向けのフォーラムを開催。

○実績（令和3年度） 静岡県ギャンブル等依存症フォーラム（Youtubeによる配信）

事業年度	配信期間	内容	申込者数
令和3年度	R4. 3. 26 ～ R4. 4. 8	①基調講演 「ギャンブル等依存症の基本的な知識と対応」 講師：静岡福祉大学 教授 長坂 和則 氏 ②パネルディスカッション 「ギャンブル等を依存症を経験して～そして回復へ～」 コーディネーター：長坂 和則 氏 パネラー：（一社）グレイス・ロードの当事者	28人

○予定（令和4年度） 静岡県依存症フォーラム

事業年度	開催日	内容
令和4年度	R5.2.26	①基調講演 「アディクションと家族（家族の変化、共依存、イネイブリング）」 講師：静岡福祉大学 教授 長坂 和則 氏 ②パネルディスカッション コーディネーター：長坂 和則 氏 パネラー：①アルコール依存症当事者の家族（断酒会） ②ギャンブル等依存症当事者の家族 ③薬物依存症当事者の家族 ④摂食障害当事者の家族（ぬくもり）

(5) 家族支援

依存症拠点医療機関において、依存症患者の家族向けの講演会を実施するとともに、精神保健福祉センターにおいて家族教室を実施する。

○実績

講演会（精神保健福祉センターにて実施）

事業年度	実施機関	開催日	内容	実施回数	参加者数
令和3年度	服部病院	R3.8.29	第5回家族のわかちあい(断酒会との共催) 家族による体験談 講師：服部病院 寺田 友博 氏	1回	240名 (Zoom参加含む)
	精神保健福祉センター	R3.11.29	アルコール問題を抱えるご家族への講演会（講演、当事者とご家族による体験談、家族の分かち合い） 講師：静岡福祉大学教授 長坂 和則 氏 静岡県断酒会理事長 小泉 登資 氏 静岡県断酒会家族 小泉 京子 氏	1回	24名
令和4年度	服部病院	R4.7.31	静岡県断酒会と共催し、第6回家族の分かち合い「1日体験談の集い」を開催。1日を通して体験談に終始。家族による体験談を語り聞くことで、依存症からの回復の難しさや喜びを知る。	1回	190名 (Zoom参加含む)
	精神保健福祉センター	R4.10.31	令和3年度と同内容で実施	1回	31名

## (6) 受診後の患者支援事業

依存症治療拠点機関において、医療機関の受診後又は退院後の依存症患者について、自助グループ等の民間支援団体と連携しながら、患者と民間支援団体の「顔の見える」関係作り、繋がり、定期的な確認することで、患者に対して継続的に支援を行う。

○実績 ※令和3年度、4年度事業は同内容

実施機関	内容	連携民間支援団体
聖明病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>院内自助グループの断酒定例会</li> <li>ダルクによる当事者ミーティング</li> <li>ダルクによる依存症回復プログラム</li> </ul>	県断酒会、静岡ダルク、スルガダルク
服部病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>断酒会・AA と連携した退院者を対象とした同窓会</li> <li>断酒会員との語り合いの会</li> <li>院内例会における断酒会、AA による体験談</li> <li>NA・ダルクによる当事者ミーティング</li> <li>GA による入院・外来患者とのミーティング</li> </ul>	県断酒会、AA、NA、ダルク、GA、えある

## (7) ゲーム障害・ネット依存対策事業

令和元年5月、WHOによりゲーム障害が精神疾患に位置づけられたことから、ゲーム障害・ネット依存への対策として、ワークショップ及び回復支援プログラムを実施する。

○実績

ゲーム障害・ネット依存対策ワークショップ ※県教育委員会との共催

開催日	会場		参加者数
R4. 5. 21	沼津	プラサヴェルデ	19名
R4. 5. 28	富士	富士市交流プラザ	10名
R4. 6. 18	下田	下田市民文化会館	6名
R4. 7. 2	静岡	静岡県男女共同参画センター「あざれあ」	23名
R4. 11. 19	掛川	静岡県総合教育センター	名
R4. 11. 26	浜松	クリエート浜松	名
		計	58名

※令和3年度 開催回数：7回 参加者数：144名

ゲーム障害・ネット依存回復支援プログラム

クール	会場	本人向け						家族向け
		合計	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	
1クール	浜松	3(1)	0(0)	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	8(5)
2クール	沼津	8(7)	1(1)	4(3)	1(1)	1(1)	1(1)	10(9)
3クール	静岡	5(1)	2(1)	0(0)	3(0)	0(0)	0(0)	5(3)
4クール	浜松							
計	—	16(9)	3(2)	5(4)	5(2)	2(2)	1(1)	23(17)

※人数は申込者数、( ) は1度でも参加した参加者数

※令和3年度 開催回数：2クール 参加者数：本人向け5名、家族向け15名（実人数）

新型コロナ感染拡大により2クールのみ実施。沼津会場は2回目後、開催中止となった。